

# 地図転送虎の巻

ここでは詳細な地図データ(マップソース)を日本版GPSへ格納するまでの操作を順に紹介します。

# 操作の流れは以下のようになります。

(※ZUMO/Edge705では以下のステップ1~5の作業は必要ありません。 付属の「日本詳細地図をPCヘインストールするために」をご覧下さい。)

ステップ1 ロック解除コードの取得

ステップ2 マップソースをパソコンにインストール

ステップ3 マップソースヘロック解除コードを追加

ステップ4 機器の接続と準備

ステップ5 地図データの転送

応用 1 GPSに記録された軌跡データをPCに読み込む

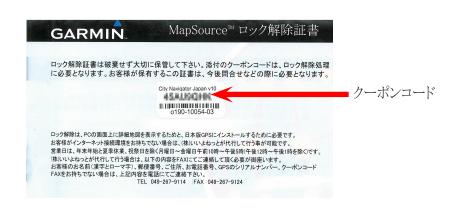
応用 2 ウェイポイントの送信

応用 3 ルートの送信

それでは各ステップ毎に詳しく説明していきましょう。

# ステップ1 ロック解除コードの取得

1. 各マップソース1本につき1枚の「ロック解除証書」が同梱されていますので こちらをご用意下さい(GPSに同梱されているマップソースはロック解除不要です。 詳細は同梱されている説明書をご覧下さい)。



ロック解除証書に貼られたシールに英数字8桁の「クーポンコード」が印字されています。マップソースの英語表記名とバーコードの間、上図、丸印の中が「クーポンコード」です。(0190-10054-03等は、クーポンコードではありません)

マップソースの英語表記名には、上図のJapanese City Navigator(日本詳細道路地図)
・Japanese Topo10M(日本地形図)・Blue Chart(日本航海参考図) 等々があります。

# 2. インターネット経由でロック解除用サイトへ接続します

(㈱いいよねっとのHP(http://www.iiyo.net/)にアクセスして、リンクメニューの「ロック解除」をクリックします。

(※ガーミンのロック解除用サイト: http://www.garmin.com.tw/japan/unlock/index.htm)



# 2.) 入力内容の確認

- 8桁の「クーポンコード」とマップソース商品名が正しいか、ご確認下さい。
- · 次回の追加登録のために「お客さまコード(8桁のコード)」をお控え下さい。
- ③「新しいお客さま」をクリックし次のステップへ。

③「新しいお客さま」をクリック

#### MapSource(マッナソース)ロック解除 - ステッナ 2/7:

このクーポンコードのマップソース商品名: Japan Topo-10M V8

あなたのお客さまコード:

#### 新しいお客さま

ĭĚ

初めて、ロック解除を行うお客様は、「新しいお客さま」のリンクをクリックして下さい。

既に登録済みのお や、追加で別地域) オポッコンを選択し

# 3.)シリアルナンバー(S/N)の入力

- ・GPS本体に貼られているシールから「シリアルナンバー」をご確認下さい。
- ハンディ機の場合は、電池をはずしていただき 電池ボックス内側に英数字**9または8桁**が印刷されたシールが 貼ってあります。その英数字が「シリアルナンバー」です。
- ZUMO550の場合は、底面のカバーを開くと右側SDスロット手前 に英数字**9または8桁**が印刷されたシールが貼ってあります。 その英数字が「シリアルナンバー」です。
- ④ PC画面の「シリアルナンバー」入力欄に 英数字9または8桁を半角で正確に入力して下さい。
- ⑤「Step 4 >>」をクリックし次のステップへ。

**」**⑤「Step4≫」ボタンをクリック

.④「シリアルナンバー」を**半角で**入力

入力したクーポンコー

このマップソースを利用するGPSプニットの8桁のシリアルナンバーを入力して下さい。 eTrex日本版シリーズは、本体の電池装着部に8桁のシールが貼られています。

MapSource(マッブソース)ロック解『ぇ・ステップ 3/7: シリアルナンバー入力(新しいお客さま)

電池力バーを外してご確認下される。 (保証書がある場合は、そちらげも貼られています)。

他の製品は、通常本体の裏側に8桁のシールが貼られています。

シリアルナンバーを間違んて入力しますと、いかなる理由でも後で変更や取り消しは、一切出来ません。十分と注意の上、入力して下さい。

165410900

Step 4 >>



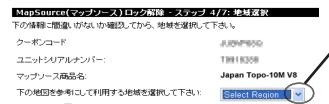
V

# 4.)地域選択

- ⑥ 地域選択欄の右端をクリックし地域(リージョン)を選択します。
- 選択肢は最初に表示されている「Select Region」(地域を選択して下さい)以外に、1つしかありません。

「Select Region」以外(「Japan All Region」や「Japan Blue Chart」)を選択します。

⑦「Step 5」をクリックし次のステップへ。





# 5.) 入力内容の確認

- ・ 今までの入力内容が表示されますので再度ご確認下さい。
- 内容に間違いが有る場合は、「Step 4 ≫」をクリックして「4.)」の作業をやり直して下さい。
- ⑧ 内容に問題が無ければ「Step 6 ≫」をクリックし次のステップへ。

⑧「Step6≫」ボタンをクリック



①で入力したクーポンコードにより、地図ソフトの種類が 自動判別されますので、「Select Region」以外に表示された 地域名を選択して下さい。

#### MapSource(マップソース)ロック解除 - ステップ 5/7: 地域確認

クーポンコード:

JUSTATIONS TROUGHS TO THE

ユニットシリアルナンバー:

Japan Topo-10M V8

マップソース商品名:

Japan Topo-10M V8

選択された地域: カバーする地域:

Japan Topo-10M V8

上記の選択された地域が正しいか確認して下さい。

間違っている場合、

<< Step 4

で戻り別の地域を選択して下さい。

もしこれで良ければ Step 6 >> と押して下さい。

# 6.)お客さま情報の入力

- ③ お名前、電話番号、メールアドレス等、画面に表示された項目に従い、情報を入力して下さい。
- ⑩ すべての入力項目に間違いが無いかご確認の上、「Step 7 >> 」をクリックして下さい。

#### 重要!!!

必ずご自分のGPS機器と画面上のシリアルナンバーがマッチしているかをご確認下さい。

「Step7>>」をクリックされますとその時点で表示されているシリアルナンバーの機種以外ではこのマップソースはご使用できなくなります。「ロック解除コード」の再発行はいかなる場合も承ることができませんので入力内容を必ずご確認下さい。

CDC: リフェート・バーの1 土田 キュリェジ 注本 エシュ

			GPSンリノルナンハーの人が削遅いにこ往思下さい。
MapSource(マップソ	-ス)ロック解除 - ステッブ6/7:顧客情報入力		もしGPSシリアルナンバーの入力を間違えた場合は
	トシリアルナンバー、選択された地域を再度確認してから、お客様の情報を <u>3.カリ</u> ゴーミン)社のデータベースに登録され、GARMIN社のライ <del>レースポッ</del> プーに従い、コ		この画面の入力を中止して、PCの画面を閉じて下さい。
マップソース商品名:	apan Topo-10M V8 apan Topo-10M V8		PCの画面を閉じたら、お手数ですが、ivページの「2.インターネット経由でロック解除用サイトへ接続します」からやり直して下さい。
お名前 名(例、一郎):			
電話番号:			
Fax番号:			
emailアドレス:			
	ノールアドレスを正しく入れると、ロック解除コードを記載したメールが届きます。	<del>-</del>	▶⑨お客様の情報を各欄に入力して下さい
L	Japan 💌		
郵便番号: Required for U.S. Addresses			
State Code:(不要)	日本の場合入力不要です		
都道府県名:			
住所1:			
住所2:			(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	<ul> <li>✓ アップデート案内用のメールリストニ登録する。</li> <li>✓ マップソースユーザー登録をする。(サポート目的で、から様の)情報が登録され</li> </ul>	ます	<b></b> ⑩「Step7≫」ボタンをクリック
	マントを押すと、ロック部除っ、十分、表示されますが、その後はGARMIN(ガーミン)社よ の 変更、GPSユニットシリアルナンバーの変更、マップソースの交換や返金		
Sten 7 >> *********************************	iatu.		

# 7.)ロック解除コードの発行

- ・25桁の「ロック解除コード」が表示さると同時に、「6.) お客さま情報の入力」のメールアドレス欄に入力したメールアドレスに、メールが送信 されます。
- ・ 画面に表示されている25桁のロック解除コードを、ロック解除証書(iiiページ参照)の転記欄に記入し、大切に保管して下さい。
- まれにガーミン社サーバーの混雑やトラブルにより、サイトに接続できない場合がありますが、この場合は暫く時間をおいてから 再度お試し下さい。

#### MapSource(マッブソース)ロック解除 - ステップ 7/7:ロック解除コード表示

ありがとうございました。ロック解除コードの取得が完了しました。

今後、このMapSource(マップソース)ロック解除のページを訪れるときは、次のあなたのお客さまコードをご利用下さい

これがあなたのロック解除<del>コードです:</del>

JUNEAU PROTEST PROCESS FOR STATES

**—** ロック解除コード

ロック解除コードは大切に保管して下さい。

MasSource(マップソース)の地図を見たりダウンロードするために、次の手順でロック (制限)を解除して下さい。:

- このロック解除コードを、あなたのクーポンコード用紙に書き写して下さい。 このページを印刷して保管することをお勧めします。
- (PC が故障したり、新しいPCを購入したときに、ロック解除コードを再入力しなければなりません。)
- このページのロック解除コードをコピーして、マップソースに貼り付けることをお勧めします。
  - o PCで MapSource(マップソース)を起動します
  - o Ctrl キーを押しながら、Uを押して下さい。ロック解除コードのダイアログボックスが表示されます。
  - 追加ボタンを押して、ロック解除コードを上船に入力して下さい。下船はコメント欄ですので 任意です。MapSource(マップソース)の商品名等を入れて下さい。
  - o OKボタンを押して下さい。

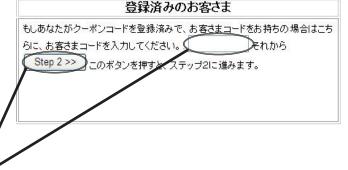
# 手順 2:過去にロック解除コードを取得したことがある場合

既にお客様コードをお持ちのお客さまは、個人情報の入力処理が容易になります。

※はじめてロック解除コードを取得する場合は、ivページの「手順 1」をご覧下さい。

# 手順2-1.) クーポンコードの入力

- ①「登録済みのお客さま」内の「クーポンコード」入力欄へ ロック解除証書 (iii ページ参照)に印字されている 英数字8桁を半角で入力して下さい。
- ②「Step2>>」ボタンをクリックし次のステップへ。
  - ②「Step2≫」ボタンをクリック
  - ①「お客さまコード」を入力



# 手順2-2.) 追加クーポンコードの登録

③「追加クーポンコードの登録」をクリックし次のステップへ。

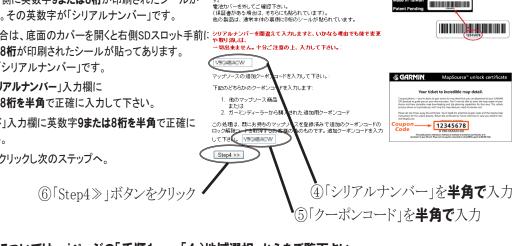
	地域	アクション	クーポンコード
Zenrin	Japan City Navigator v10, Zenrin	Redeem Original	BTHTHTM
Zenrin	Japan City Navigator v10, Zenrin	Redeem Additional	V9GABACW

# 追加クーボンコードの登録

をク

## 手順2-3 ) シリアルナンバー(S/N)とクーポンコードの入力

- ・GPS本体に貼られているシールから「シリアルナンバー」を ご確認下さい。
- ハンディ機の場合は、電池をはずしていただき 電池ボックス内側に英数字9または8桁が印刷されたシールが 貼ってあります。その英数字が「シリアルナンバー」です。
- ZUMO550の場合は、底面のカバーを開くと右側SDスロット手前に 英数字9または8桁が印刷されたシールが貼ってあります。 その英数字が「シリアルナンバー」です。
- ④ PC画面の「シリアルナンバー」入力欄に 英数字9または8桁を半角で正確に入力して下さい。
- (5)「クーポンコード」入力欄に英数字9または8桁を半角で正確に 入力して下さい。
- ⑥「Step 4 >>」をクリックし次のステップへ。



お客さまコード:6UAUKU38

ManSource(マッナソース)ロック解除 - ステッナ3/フ: シリアルナンバー入力(追加クーポンコードの登録

このクーポンコードのマップソース商品: Japan City Navigator v10, Zenrin

GPSユニットの8桁のシリアルナンバーを入力して下さい。 eTrex日本版シリーズは、本体の電池装着部に8桁のシールが貼られていま

これ以降の手順については、viページの「手順1」→「4、)地域選択」からをご覧下さい。

# ステップ2 マップソースをパソコンにインストール

ステップ 1で使用した「ロック解除証書」をご用意下さい。

ロック解除証書は3つ折りになっております。これを開きますとマップソースのインストール方法が書かれていますのでこちらを参照しながら、DVD/CDをパソコンにセットします。

インストール時にGPSソフトのバージョンチェックを聞かれた場合は、「いいえ」で先に進んで下さい。その他インストール関連の問いがある場合は、お使いのGPSデバイスに則した指定をした後、次に進んで下さい。

# ステップ3 マップソースヘロック解除コードを追加

## ロック解除コードの追加

- パソコンにてMap Source(ブロックの形)アイコンをダブルクリックし、マップソースを起動します。
- ・「ロックされたマップが検出されました」ウインドウ(下図参照)が表示されたら、表示されているマップソース名を確認し、「マップのロック解除」ボタンをクリックします。
- ※マップソースのバージョンにより「ロックされたマップが検出されました」ウインドウが表示されない場合があります。 その場合は、「ユーティリティ」→「マップ製品の管理」と操作して下さい。 または、「ユーティリティ」→「マップのロック解除」と操作して「領域のロック解除」ウィンドウを開きます。(②へ)

「ロック解除領域」タブをクリックします。
 「追加」ボタンをクリックします。

ロックされたマップが検出されました

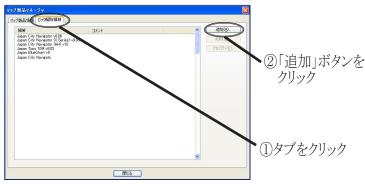
次のマップ製品はロックされています:

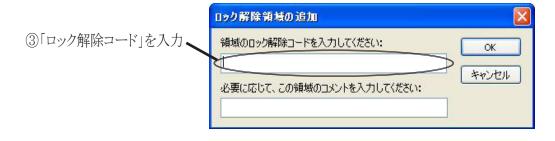
Japan Topo 10M v7

これらの製品のマップを選択して使用するには、ロック解除コードが必要です。

マップのロック解除

スキップ





- ③ 「領域のロック解除コードを入力して下さい」の欄に、既に取得した25桁のロック解除コードを半角で入力し「OK」をクリックします。
- ロック解除が完了すると「領域」欄にマップソース名が追加されます。

# ステップ4 機器の接続と準備

# 各種ケーブルの接続

- ・製品に同梱の「(重要)お買い上げのGPSデバイスをご使用になために」をご覧になり、必要な場合はUSBドライバのインストールをお済ませ下さい。
- ・GPS本体付属のUSBケーブル又は、シリアルケーブルをGPSデバイスに接続して下さい。
- ・パソコン側にUSBコネクタ(又は、シリアルコネクタ(D-SUB9ピン))を接続して下さい。
- USB対応GPS以外の場合で、ご使用のパソコンにシリアルポート(RS-232C)が装備されていない時は USB to シリアルコンバータ(弊社お取扱いございます)などが必要になります。 (※USB to シリアルコンバータをお使いの場合は事前にドライバのインストールをお済ませ下さい。)
- GPS本体の電源を入れて下さい。

# ステップ5 地図データの転送

# 事前準備

地図データの転送に直接関係ありませんが、必要な方は今後の為にマップソースの設定を変えておきましょう。 まず、パソコン側でマップソースを起動します。

- 単位の変更
- 初期設定では単位がマイル表示になっている場合がありますので、「編集」→「環境設定」→「ユニット」にて 「距離と速度」「高度/標高」「深度」「区域」を、「メートル法」にします。

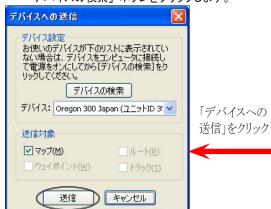
# 節囲の選択

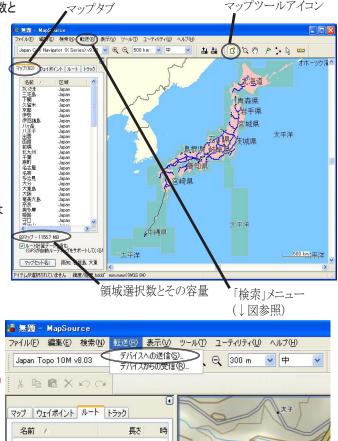
- 縮尺を300km程度にすると日本列島が判別できる程度の大きさになります。ここに四角い枠(グリッド)が 複数に分割され表示されているのが確認できます。 (四角い枠が表示されていない場合はロック解除コードの追加が正常に行われていません)
- ・この四角い枠がGPSデバイスへデータ転送する際の「単位」になります。
- ウインドウ内左手にある4種類のタブから「マップ」を選びます。
- 「C (マップ)」を選択し、マップツールモードにします。
- この状態でウインドウ内右手の地図上にマウスポインタを動かすと、ポインタに重なっている枠が黄色く表示 されます。転送したい地域(枠)上にポインタを合わせ、クリック(選択)します。
- ・ 選択された地域(枠)はピンク色で表示され、ウィンドウ内左手のマップタブ内には選択地域の名称と、データ量が 表示されます。
- ・ウインドウ内左下には現在選択している地域(枠)の数と合計の容量が表示されます。
- 複数の地域(枠)を選択する場合は上の操作を繰り返して下さい。
- ・日本全域を指定する場合は、地図上の左上から右下に向けて、マウスでドラッグして下さい (xiv ページ 図参照)

・ウインドウ内左下には現在選択している領域(枠)の数と合計の容量が表示されます。 お使いのGPS本体に搭載されているメモリ範囲内 (メモリスロットが装備されている機種は メモリカードの容量に収まるように eTrexLegend/VistaとGPSmap76は16MB、 eTrexC、GPSMAP60CS、GPSVは38MB 選択して下さい。

# 地図の転送

・「転送」→「デバイスへの送信」をクリックし デバイスへの送信ウィンドウを表示します。 デバイス欄に何も表示されていない場合や 「ストレージカードリーダ」等が表示されている場合は 「デバイスの検索」ボタンをクリックします。





- ・「送信対象」の「マップ」にチェックが入っている事を確認して下さい。(xiv ページ 図参照)
- 「送信」ボタンをクリックすると転送が始まります。
  - ※送信開始時に、「消去しようとしているマップデータは Garmin によって事前にプログラミングされたものです。」 というメッセージが表示される場合があります。これは以下2つのケースで発生します。
- ケース 1: microSD 版のマップソース製品に上書き転送しようとした場合。 ここで転送を続行しますと microSD/SD 版のマップソース製品が消去され、以降、使用不能になります。 それでも良い場合のみ、「OK」をクリックして下さい。
- ケース 2:旧機種の内蔵マップメモリタイプ製品に最初の転送をしようとした場合。 問題ありませんので、「OK」をクリックして下さい。
- 日本全国分の転送を実施の場合は、1時間以上の時間が掛かる場合があります。
- ・終了後、GPS 本体で地図表示を行い、転送地区に四角い枠(グリッド)が表示されているのをご確認下さい。四角い枠が無い場合は転送されていませんので、今までの作業を見直し、再度実行して下さい。

## GPS デバイスと PC の接続がうまくいかない場合は:

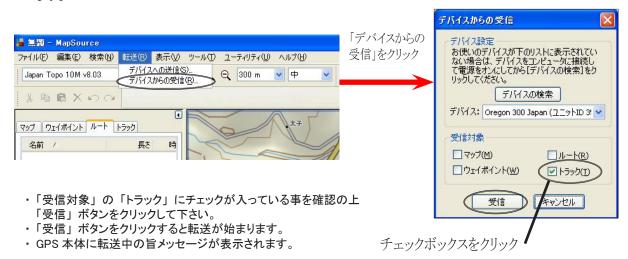
- ・USB 対応 GPS デバイスとの接続でデバイス欄に接続している機種名が表示されない場合は、USBドライバのインストールに問題がありますので、GPS 本体同梱の「(重要)お買い上げの GPS デバイスをご使用になるために」に従い、ドライバのインストールをご確認下さい。
- ・ZUMO、Edge、Oregon、Colorado などのマスストレージモードタイプは、PC 上の空きドライブに自動的に割り当てられ、外部ドライブとして認識します。PC 上のドライブが全て別のデバイスで使用されていると、本機を PC に接続しても認識されませんので、既に接続されているドライブの切断を行ってください。
  - ※マスストレージタイプのユニットには、USBドライバは不要です。
- ・メモリスロット搭載機の場合は、メモリーカードリーダーなどを使い、メモリーカードに直接地図データを転送すること ができます。この場合は、デバイス欄にメモリの名称が表示されますので、そこに転送して下さい。
- ・シリアル接続(USB コンバータ含む)の場合は「GPS デバイスを検索しています」とメッセージが表示されて「シリアルポート「COM」に接続しました。」と表示される場合があります。 (シリアル接続のGPSを発見できない場合は、パソコン側に問題がある可能性がありますので、USB コンバータを使用している場合は USB ドライバを確認して下さい。)

# 応用1 GPSに記録された軌跡データをPCに読み込む

- ・GPS本体付属のUSBケーブル又は、シリアルケーブルを使用して、PCとGPSデバイスを接続して下さい。 PCとの接続に関しては、xiiページの「ステップ4」をご覧下さい。
- GPS本体の電源を入れて下さい。

# 軌跡データの受信

・「転送」→「デバイスからの受信」をクリックし、デバイスからの受信ウィンドウを表示します。デバイス欄に何も表示されていない場合や「ストレージカードリーダ」等が表示されている場合は「デバイスの検索」ボタンをクリックします。





・受信終了後、「トラック」タブに受信した軌跡名と数が表示されているのをご確認下さい。 「トラックタブ」内に何も表示されていない場合は、受信されていませんので、今までの作業を見直し、再度実行して下さい。

# 応用2 ウェイポイントの送信

## ウェイポイントの作成

- ・縮尺を300km程度にすると日本列島が判別できる程度の大きさになります。「 <sup>\*</sup>♥ (ズーム)」を選択し、ズームツールモードにします。
- ・マウスポインタを、拡大したい地域に置いてクリックします。クリックするごとにマップがズームインされます。右クリックするごとにマップがズームアウトされます。
- ・ウェイポイントを作成したい位置がマップ上に表示できたら「ツール」 → 「ウェイポイント」を選択し、ウェイポイントツールモードにします。
- ウェイポイントを作成したい位置に、マップポインタを置いてクリックします。
- ウェイポイントプロパティウインドウが表示されます。「OK」をクリックします。

# 各種ケーブルの接続

- ・GPS本体付属のUSBケーブル又は、シリアルケーブルを使用して、PCとGPSデバイスを接続して下さい。 PCとの接続に関しては、xiiページの「ステップ4」をご覧下さい。
- ・GPS本体の電源を入れて下さい。

## ウェイポイントの送信

- ・「転送」→「デバイスへの送信」をクリックし、デバイスへの送信ウィンドウを 表示します。デバイス欄に何も表示されていない場合や「ストレージカード リーダ」等が表示されている場合は「デバイスの検索」ボタンをクリックします。
- ・「送信対象」の「ウェイポイント」にチェックが入っている事を確認の上 「送信」ボタンをクリックして下さい。
- 「送信」ボタンをクリックすると転送が始まります。
- ・ GPS 本体に転送中の旨メッセージが表示されます。

がい場合は、デバイスをユンピュータに接続して電源をオンにしてから「デバイスの検索」をクリックしてください。
デバイスの検索
デバイス: Oregon 300 Japan (ユニットID 3' ▼
送信対象

マップ(M) トラック(I)

送信 キャンセル

送信 キャンセル

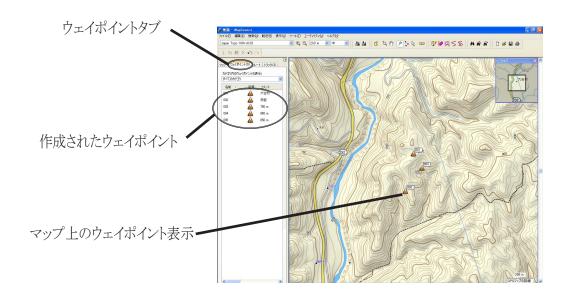
お使いのデバイスが下のリストに表示されてい

デバイスへの送信

デバイス設定

チェックボックスをクリック

・終了後、GPS本体で、マップソースから転送した「ウェイポイント」が表示されているのをご確認下さい。GPS本体の検索操作で表示されない場合は、転送されていませんので、今までの作業を見直し、再度実行して下さい。 GPS本体で、登録済みの「ウェイポイント」を確認する方法は、各GPS本体の操作マニュアルをご覧下さい。



# 応用3 ルートの送信

## ルートの作成

- ・ご使用のマップソース製品によって、「直行」ルートか「道路探索」ルートかを選択できます。
  - (※TOPO/BlueChartは「直行」のみ)
  - 「編集」→「環境設定」 → 「ルーティング」タブ → 「ルートスタイル」を選択し、「自動ルーティング」または「直行ルーの使用」をクリックします。(本マニュアル21ページをご覧下さい)
- ・「「ス ズーム」を選択し、ズームツールモードにします。マウスポインタを、拡大したい地域に置いてクリックします。 クリックするごとにマップがズームインされます。右クリックするごとにマップがズームアウトされます。
- 「 ルート」を選択し、ルートツールモードにします。
- ルートの始点に、マップポインタを置いてクリックします。
- ・次に、経由地へマップポインタを合わせてクリックします。クリックした場所が線で結ばれてルートが作成されます。
- ・ルート作成を終了するには、終点でキーボードの「Esc」を押すか、マウスを右クリックして「キャンセル」を選択します。

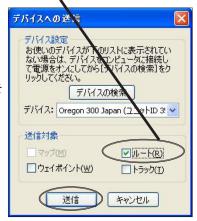
# 各種ケーブルの接続

- ・GPS本体付属のUSBケーブル又は、シリアルケーブルを使用して PCとGPSデバイスを接続して下さい。 PCとの接続に関しては、xiiページの「ステップ4」をご覧下さい。
- ・GPS本体の電源を入れて下さい。

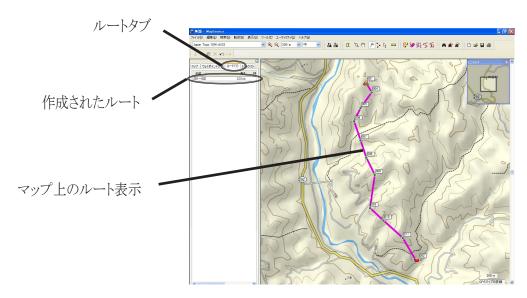
#### ルートの送信

- ・「転送」→「デバイスへの送信」をクリックし、デバイスへの送信ウィンドウを表示します。デバイス欄に何も表示されていない場合や「ストレージカードリーダ」等が表示されている場合は「デバイスの検索」ボタンをクリックします。
- ・「送信対象」の「ルート」にチェックが入っている事を確認の上、「送信」 ボタンをクリックして下さい。
- 「送信」ボタンをクリックすると転送が始まります。

チェックボックスをクリック



- ・GPS本体に転送中の旨メッセージが表示されます。
- ・終了後、GPS本体で、マップソースから転送した「ルート」が表示されているのをご確認下さい。GPS本体で表示されない場合は、転送されていませんので、今までの作業を見直し、再度実行して下さい。 GPS本体で、作成済みの「ルート」を確認する方法は、各GPS本体の操作マニュアルをご覧下さい。



# よくある質問

\_\_\_\_\_\_

- Q。 マップソース(日本地形図)をインストールしたのにパソコンで等高線が表示されません。
- A。 理由1:ロック解除コードの追加が完了していません。

理由2:マップソースの設定を確認して下さい。

- ツールバー内の「マップの詳細設定の選択」又はメニューバー内の「表示」→「マップの詳細」にて値を「最高」にして下さい。
- ・ 「表示」→「GPSマップの詳細の表示」が表示されている場合はそこをクリックし、「GPSマップの詳細を隠す」と表示されるようにして下さい。又は、「表示」→「GPSマップの詳細」にチェックを入れて下さい。
- ・ メニューバー内の「表示」→「製品の切替」にて「Japan Topo-10M」にチェックを入れて下さい。
- Q。 すでにGPS本体に転送したデータに別の地域を追加したいのですが?
- A。 追加はできません。

毎回、ご使用になる地域全てを選択して転送して下さい。

Q。 TOPO10Mとシティナビゲーターの両方を一緒に使いたいのですが、先に転送したものが消えてしまいます。

A。 追加はできませんので、TOPO10Mを表示した状態で転送地区を選択、シティナビゲーターに切替えた後、再度

A。 追加はできませんので、TOPO10Mを表示した状態で転送地区を選択、シティナビゲーターに切替えた後、冉度 転送地区を選択し、同時に双方のデータを転送して下さい。

Q。 転送したデータをクリアしたいのですが?

A。 次回の転送操作時に、自動的にデータのクリアが行われますので必要ありません。 OregonやColoradoなどは、メモリメディアや内蔵メモリ内の「¥Garmin¥gmapsupp.img.」を削除して下さい。 誤って他のファイルを削除すると本体故障となり、有償修理になりますので十分お気をつけ下さい。

#### よくある質問

\_\_\_\_\_\_

- Q。 日本地形図をGPSデバイスに転送したのにGPS画面に等高線が表示されません
- A。 以下の設定をご確認下さい。
  - GPSデバイス側の地図設定の「詳細度」を「標準」より上に設定して下さい。GPSデバイスで地図の詳細度を設定する方法については各GPS本体のマニュアルを参照して下さい。
  - ・ GPSデバイスには、ひとつのマップソース製品のみ、表示できます。 複数のマップソース製品(Topo10Mとシティナビゲーターなど)をGPSデバイスに同時に転送している場合は 使用しない製品を、非表示に設定して下さい。GPSデバイスで地図を非表示に設定する方法については 各GPS本体のマニュアルを参照して下さい。

------

#### お問合せ

● インターネットから。。。

「ご購入後の技術的なお問い合わせ」 : <a href="http://www.iiyo.net/gps\_query.htm">http://www.iiyo.net/gps\_query.htm</a>

● お電話から。。。

049-267-9114

年末年始と夏季休業、祝祭日を除く、月曜日~金曜日 午前 10 時~午後 5 時 (午後 12 時~午後 1 時を除きます)